

よい豚のもとをたどればよい種豚

疾病予防・管理できていますか？



国産純粋種豚改良協議会だより

第 6 号 2018. 9. 20 発行

平成 30 年度 国産純粋種豚改良協議会

総会及び意見交換会 開催!!

(平成 30 年 8 月 9 日 東京都渋谷区婦選会館 多目的ホール)

平成 30 年 8 月 9 日、国産純粋種豚改良協議会の平成 30 年度総会が、東京都渋谷区の婦選会館多目的ホールにて開催されました。全会員 34 名のうち出席者は 20 名、委任状出席者は 14 名で開催が成立、最初に本協議会星会長の挨拶のあと、オブザーバーである農林水産省の関村畜産技術室長にも挨拶をいただきました。(オブザーバー会員は 4 名の出席を頂きました。)

全議案承認となり、最後に本協議会副会長の独立行政法人家畜改良センター藁田理事より閉会の挨拶をいただき無事終了となりました。

総会終了後、総会出席者による意見交換会が行われ、今後の協議会活動方針についての参加者からの意見や要望が出されました。そのなかで、国及び都道府県と民間生産者が今まで以上に強力にタッグを組んでいくことの重要性、改良推進のために系統豚等の利活用について、肉豚生産のもととなる国産純粋種豚の育種とそれを資源として守っていくことの重要性や、新しく立ち上がった「国産純粋種豚改良協議会 銘柄豚認定委員会」において、生産豚肉の差別化をどのように図っていくか等の課題について、オールジャパンで取り組みをさらに強固かつ充実したものとしていくことを強く求める声が上がりました。

その後開催された懇親会にも多くの総会出席者に参加していただきました。歓談のなかで、この協議会を通して改めて、国内の種豚生産者が気持ちをひとつにして頑張っていこう!!という強い決意が再確認できたと思います。複数のハンディキャップを持ちながらも、それを乗り越え社会福祉や教育活動に情熱を注いだ米国のヘレン・ケラーの言葉に『結局、真の知識を得ようと望むものは、誰でも艱難の山を一人で登らねばならず、頂上への王道がない以上、私は曲がりくねりながら登らねばならぬことに気付いたのです。』というのがあります。目指す種豚を生み出すことは時として孤独な戦いであり挑戦を求められることもあります。データを集め、血統を管理し、生体の体型と成績を比較しながら選抜を行い改良していく道はまっすぐで平坦な高速道路よりも細く曲がりくねった道の方が多いと感じます。スポットを浴びきりやかに目立ち持て囃される事は少ないかもしれませんが、そうしてできた種豚はまさに国の宝です。協議会が丸となり、養豚業界から素晴らしいといわれるような種豚改良を目指し前進していくことを事務局としても全力で後押ししてまいります!!



お祝いの挨拶を頂いた農林水産省 関村畜産技術室長と星会長(左)



国産純粋種豚の今後の改良の方向性について意見を述べる日高会員



総会締めあいさつを頂いた副会長である、独立行政法人 家畜改良センター藁田理事



独立行政法人 家畜改良センター茨城牧場からのお知らせ

～今後の種豚配布計画について～

家畜改良センターでは、協議会内において、他の会員と協力しながら種豚交流活用事業に積極的に取り組み、協議会内の血縁ブリッジの構築を進めています。今回、協議会会員の独立行政法人家畜改良センター茨城牧場より今後の種豚配布計画の連絡がありましたのでお知らせいたします。

配布計画や種豚に関する内容(独立行政法人 家畜改良センター茨城牧場における衛生・疾病に対する取り組み等も含む)については独立行政法人 家畜改良センター茨城牧場のホームページを御確認頂くか、直接茨城牧場へお問い合わせをお願いいたします。

平成 30 年 8 月 31 日現在

入札公告予定年月	品種	頭数(雄)	頭数(雌)
平成 30 年 10 月	ヨークシャー種	8	15
	梅山豚	5	10
平成 30 年 11 月	デュロック種	6	8
平成 30 年 12 月	デュロック種	5	0
平成 31 年 2 月	大ヨークシャー種	10	20
合計		34	53

★月齢は原則、4～6 カ月程度。入札公告時期及び頭数は変更の可能性があります。

※家畜改良センターの種畜配布は昨年より一般競争入札制度になっています。

協議会事務局の一般社団法人 日本養豚協会は指名参加届けを出しており、入札に参加できる状態です。国産純粋種豚改良協議会の会員及びオブザーバーの方については事務局で入札に参加致しますので、随時ご連絡ください。

独立行政法人 家畜改良センター茨城牧場 <http://www.nlbc.go.jp/ibaraki/>

担当:門脇(かどわき)・大野(おおの) 電話:0296-37-6511 FAX:0296-20-3020

茨城牧場では精液の配布も行っています。

こちらの配布は一般競争入札ではなく、年間を通した公募です。

精液配布豚情報や写真については茨城牧場のホームページ、もしくは検索エンジンに下記 URL を入力して検索をかけて頂くと PDF ファイルに飛びます。

http://www.nlbc.go.jp/ibaraki/naiyou/seisan-kyokyu/pigsemen_list3004.pdf

なお、今回の導入に(及び精液の導入)平成 30 年度養豚経営安定対策補完事業が使えます。補助事業についてのお問い合わせは事務局・湯浅までお願いいたします。

国産純粋種豚改良協議会の現在の会員数は、生産者会員が 24 名、団体及び試験研究機関会員が当協会含め 11 名です。オブザーバー会員は 8 名となっております。正会員への変更手続き、新規入会をお待ちしています!!

中国でのアフリカ豚コレラ拡散及び 岐阜県での 26 年ぶりの豚コレラ 発生に伴う国内養豚農場での防疫強化を！！

ASF は非常に厄介な病気で、国内への侵入は全力を挙げて阻止する
必要があります。 また、豚コレラの拡散防止のため衛生対策を徹底しましょう

8 月 3 日の中国遼寧省瀋陽市での ASF の第 1 例目発生報告に続き、9 月 12 日時点で 21 例目の発生が報告されています。既に ASF ウイルスは中国国内で広く拡散されていると推測します。今後、複数の省に発生が拡大する可能性は高く制御は困難を極めることが予想されますが、それらの詳細がどこまで報告されるかは不明です。こうした状況のなか、中国のいたるところに ASF ウイルスは存在すると考え、国内養豚農場では防疫レベルを最高レベルに引き上げ、防疫強化をすぐに実施し国内への侵入を全力で阻止しましょう。

また、岐阜県で 26 年ぶりに発生した豚コレラについても養豚経営の存続にも関わる疾病です。これ以上拡散しないよう農場の衛生対策を今一度確認いただき侵入防止に努めましょう。

国産純粋種豚改良協議会 会員・オブザーバー会員 紹介

まだ未掲載の会員・オブザーバー会員の方、どんどんお送りください!!

1. 会員名 農事組合法人 富士農場サービス
2. 代表者名 桑原 康
3. 農場所在地 静岡県富士宮市北山 5247-34



4. 連絡先(事務所所在地など)
事務所所在地: 静岡県富士宮市北山 5247-34
電話: 0544-29-0555
FAX: 0544-29-0567

E-mail: ai-center@fujinojo.jp

5. 農場規模 人工授精所の為、種雄豚のみ 228 頭。精液販売となります。

6. 繁殖品種

LL♂	WW♂	DD♂	BB♂	YY♂	民豚♂	MG♂	その他♂	合計
40	40	110	15	12	3	3	5	育成舎 228
2万 ドーズ	2万 ドーズ	10万 ドーズ	7千 ドーズ	6千 ドーズ				15万3千 ドーズ

7. 販売可能頭数など 精液販売可能本数 15万3千ドーズ 全国区(北海道～沖縄)で販売可能。

8.写真



第1回 国産純粋種豚改良協議会 銘柄豚認定委員会開催

7月24日に第1回 国産純粋種豚改良協議会 銘柄豚認定委員会を事務局の(一社)日本養豚協会会議室にて開催しました。これに伴い、国産純粋種豚改良協議会 銘柄豚認定委員会設置要綱を総会で制定しました。詳しくは平成30年度 国産純粋種豚改良協議会総会報告書をご確認ください。

どういった基準で、どんな特徴を持たせ、どのようなターゲットに向けて豚肉を生産していくか?など取り組むべき課題はたくさんあることを改めて実感した検討委員会でしたが、今後の委員会に御期待ください。また、会員・オブザーバーの皆様からの御提案などもお待ちしております。



事務局からのお知らせ

「国産純粋種豚改良協議会」は平成28年3月31日、オールジャパンでの種豚改良を目指して発足しました。只今、会員絶賛募集中です!!

新規会員のご紹介です!!

😊ご入会ありがとうございます😊

- ・栃木県指定種豚場協議会 様
- ・富山県農林水産総合技術センター 畜産研究所 様
- ・愛知県農業総合試験場 様

また、新規オブザーバー会員として鳥取県中小家畜試験場様にご入会頂きました。

新会員の皆様、どうぞ国産純粋種豚改良協議会へ新たな喝をよろしくお願いいたします!!

一般社団法人 日本養豚協会との連携について

国産純粋種豚改良協議会と一般社団法人 日本養豚協会は豚の登録事業及び種豚改良事業推進(関連の講習会やセミナー等)を連携して実施することで同意をいたしました。これに伴い、一般社団法人 日本養豚協会で実施している種豚登録講習会に平成 30 年度から共催参加をすることになりました。

また、今後全国的な育種改良の会議や研究会について事務局から広くご案内をしていきたいと思います。是非積極的な御参加をよろしくお願いいたします。(平成 30 年度種豚登録講習会については事務局まで直接お問い合わせ下さい。)

★平成 30 年度 種豚導入補助事業 ご案内

事務局である一般社団法人 日本養豚協会では平成 30 年度も種豚導入補助事業の事業実施主体をやることになりました。国産純粋種豚の能力底上げが根底の目標になった事業です。平成 29 年度も同様の事業があり、会員及びオブザーバーの方で事業参加されて、積極的に改良のための導入を行って頂きました。本事業単年度事業ではありますが、平成 26 年度から続いており、生産者間血縁構築にも有効作用しています。せっかくの補助事業です。協議会の目標達成の為に是非、有効活用しましょう。お問い合わせは事務局の湯浅までお願いします。

★協議会内部での種豚交流について

改良のスピードアップのための、ひとつの指標となる遺伝的能力評価精度を向上を図るためには、協議会員間での血縁構築が重要となってきます。是非、会員間で種豚交流を実施しましょう。御連絡いただければ会員にお知らせいたしますので事務局までお願いします。

★会員、絶賛募集中!!

より多くの種豚生産者に参加していただくことで、国産純粋種豚改良協議会の活動が盛り上がり、かつ、データがたくさん集まり、改良のスピードアップも狙えます。是非、入会をよろしくお願いいたします。協議会についてのお問い合わせもお待ちしています。

★産肉検定について

産肉形質改良のための素材となるデータ測定についても、積極的に実施をお願いしたいところですが測定機器が無いなどのお悩みについて、協議会一丸となって取り組んで行きたいと思います。是非、事務局へお問い合わせ下さい。全体で対策を検討したいと思います。

★国産純粋種豚改良協議会だより について

普段なかなか集まることのできない、会員及びオブザーバーの交流の場としても是非ご活用ください。掲載希望記事や掲載希望コーナーなどの御提案をお待ちしています。事務局までどんどんお寄せ下さい。また、改良に関する質問なども受け付けております。

(例:会員及びオブザーバーの紹介コーナー、会員及びオブザーバーに関するトピックコーナーなど)

国産純粋種豚改良協議会 事務局 一般社団法人 日本養豚協会 担当:小磯・湯浅・神長
〒1510053 東京都渋谷区代々木 2-27-15 高栄ビル 2 階
電話:03-3370-5473 FAX:03-3370-7937 E-Mail:n.yuasa@pig-pins.com